



since 1926

自分が好き 友だちが好き このまちが好き

横浜市立下野谷小学校

学校だより

4 月号

令和4年4月7日

ひかりかがや したの や こ
光輝く下野谷っ子をめざして

こうちょう たかはし よしなり
校長 高橋 義成

ほんじつ ねんせい めい むか ぜんじどうすう めい ぜんきょうしよくいんすう めい きゅうしよくあるばいと めい そうぜい めい
本日1年生55名を迎え、全児童数403名、全教職員数45名(給食アルバイト5名)、総勢448名を
もって、令和4年度がスタートしました。お預かりした大切な宝物である児童一人ひとりの成長を楽しみ
に、地域や保護者の皆様と手を携えて、あたたかい学校づくりに引き続き取り組みます。

ついで2ヶ月前、私は1年生の体育の授業を指導していました。鬼遊びという鬼ごっこをゲーム化した
単元です。腰からは2本のひもをつけていて、攻撃中にそのひもとられるとスタート地点まで戻らなけれ
ばなりません。ふと、ある女の子が泣いているのを見つけました。「ひもとられるのが怖い。」とその子は
つぶやきました。私はチームの仲間に「この子の悩みをみんなで応援しよう。」と話しました。更にいくつも
の手立てをとった2日後の授業での一コマです。3人で攻撃しているチームに、泣いていた女の子がいま
した。その子はまだ足踏みしています。他の2人が一斉に走り出しました。その子達につられて3人が
組織的に守ろうとしています。すると、泣いていたあの子の前のスペースが一瞬開きました。そのときです。
迷っていた女の子の目に力がみなぎる様子が見えました。歯を食いしばると、空いたスペースへ全力で
駆け出しました。それに気がついた守りの子がひもを取りにやってきて手を伸ばしています。その子を
ライン際すれすれでかわした後、ゴールラインを踏み越えていました。その子がとった初めての得点です。
両手を高く上げて飛び跳ねて喜んでいました。それを見つけた同じチームの子も喜んでいました。このよ
うな瞬間を生み出すために、その喜びを味わうために教師という仕事があるのだなと思ひ起こしました。

教師という仕事は重い責任を担う大変な仕事であり、すばらしい仕事です。しかし、どこの学校でも
教職員はとても疲弊しています。そこで、今年度いくつかの働き方改革にも取り組んで、心のゆとりをも
てるように、それを子どもに還元できるように進めてまいります。

今後想定される第7波や新たな変異型ウイルスの拡大傾向
によっては急な対応や慎重な判断が求められることがある
かもしれません。今年度も予測不能な難局ではありますが、
皆様と力を合わせて、もっと人と人のつながりを生かした
学校教育活動が展開できるように挑戦して
いきたいです。

したの やしやうがっこう こどもたちの真っ直ぐな目が
~下野谷小学校に、子どもたちの真っ直ぐな目が
いくつも輝くことを
願いながら、信じながら~



がっこう やくざいし やまじ しょういち さま かながわけん きょういく
学校 薬剤師の山路昭一様 が神奈川県教育
いいんかい ひょうしょう がっこう すいどうすい
委員会より表彰されました(学校の水道水、
きゅうしよくしつ ぶーる えいせい かんり やく ねん
給食室、プールなどの衛生管理などで約20年
こどもたちをまも
子ども達を守っていただいております)。